



交付運用報告書

イオン好配当グリーン・バランス・オープン
 <愛称> みどりのふたば

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2023年3月14日～2023年9月11日

第91期 決算日：2023年5月11日

第92期 決算日：2023年7月11日

第93期 決算日：2023年9月11日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とし、信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第93期末 2023.9.11

基準価額 11,914円

純資産総額 1,249百万円

第91期～第93期
2023.3.14～2023.9.11

騰落率※ 14.3%

期中分配金合計 160円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

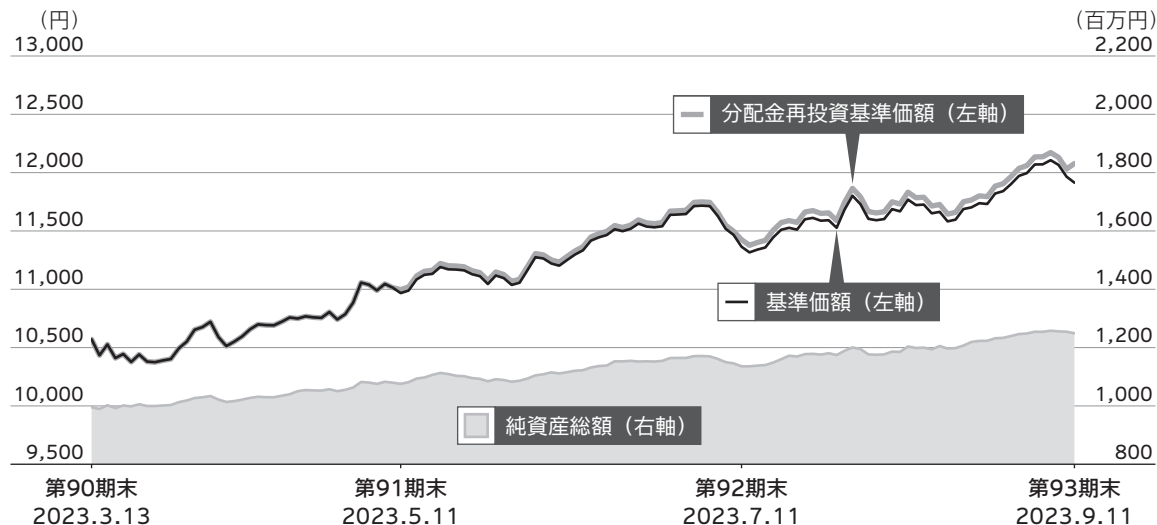
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年3月13日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

イオン好配当グリーン・バランス・オープン

投資対象である「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」が上昇したことにより、当期の分配金再投資基準価額は上昇しました。

損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

期中の騰落率は+22.2%となりました。

個別銘柄では、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三井住友フィナンシャルグループ、トヨタ自動車、大塚商会、本田技研工業、鹿島建設などの保有銘柄が上昇したことで基準価額は上昇しました。

損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

期中の騰落率は+8.4%となりました。

各国債券の利回りが上昇（価格は下落）し、債券要因はマイナスとなりましたが、円に対して各国通貨が上昇したことによる為替要因のプラスが大きかったことから、騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

項目	第91期～第93期 2023.3.14～2023.9.11		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	79円	0.695%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,312円です。
(投信会社)	(37)	(0.328)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(37)	(0.328)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.014	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{各期中の売買委託手数料}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.014)	
(c) その他費用	3	0.025	(c) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.015)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	84	0.734	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

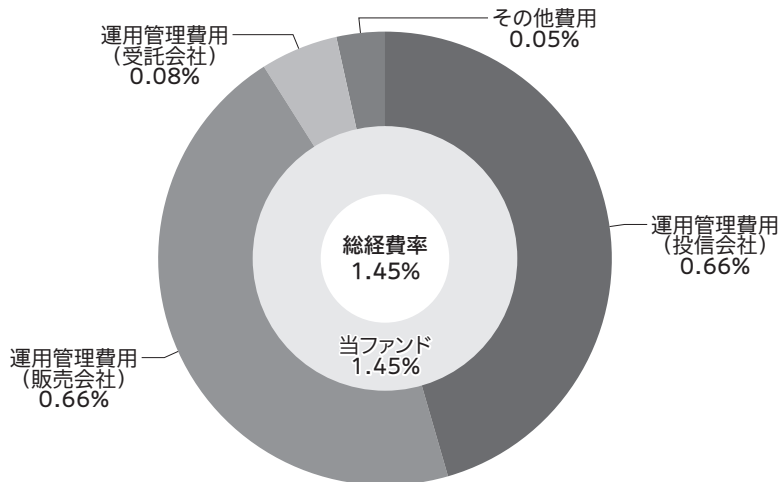
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.45%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2018.9.11~2023.9.11



- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年9月11日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2018.9.11 決算日	2019.9.11 決算日	2020.9.11 決算日	2021.9.13 決算日	2022.9.12 決算日	2023.9.11 決算日
基準価額 (円)	10,212	9,698	9,318	10,491	10,694	11,914
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	180	180	250	250	320
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 3.3	△ 2.1	15.4	4.4	14.7
純資産総額 (百万円)	703	777	808	844	944	1,249

● 投資環境

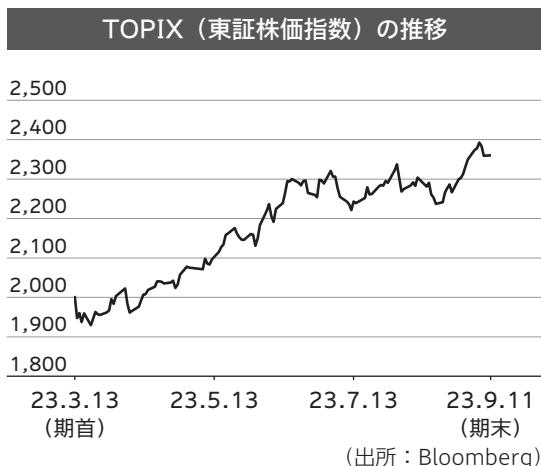
○国内株式市況

TOPIXは18.0%の上昇となりました。

期初は東証の要請（資本コストや株価の重視、投資家対話の開示、正確な情報開示）を契機とした企業の資本効率改善に対する期待から海外投資家が買い越しに転じたことで上昇しました。

その後は、米国のインフレ率が鈍化したことやFRB（米連邦準備理事会）が利上げを一時停止したことで、過度な金融引き締めによる景気減速懸念が後退したことを好感して、大きく上昇しました。

期末にかけては、中国不動産大手が米連邦破産法第15条の適用を申請したことで中国経済の先行き懸念が高まったものの、日本企業の堅調な決算発表やジャクソンホール会議におけるFRB議長の発言によって更なる金融引き締め懸念が後退したことから上昇しました。



○外国債券市況

・米国債券

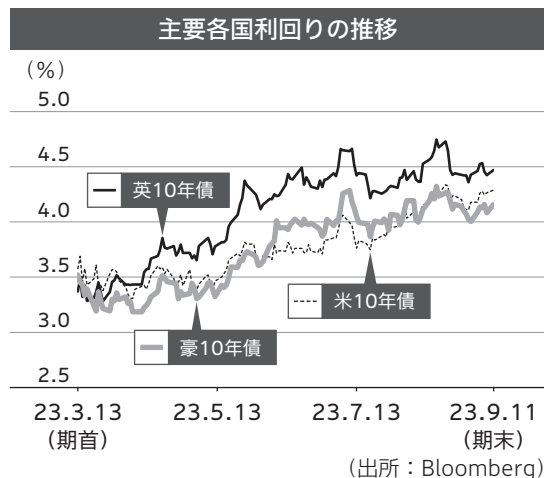
当期末の利回りは前期末を上回る水準となりました。米国経済が底堅く推移するなか、FRBによる金融引き締めをの長期化観測などから、利回りは大幅に上昇しました。

・英国債券

当期末の利回りは前期末を上回る水準となりました。インフレへの警戒感が続くなか、BOE（イングランド銀行）による金融引き締めが進められたことなどから、利回りは大幅に上昇しました。

・豪州債券

当期末の利回りは前期末を上回る水準となりました。インフレへの警戒感が続くなか、RBA（オーストラリア準備銀行）が2023年6月まで利上げを進めたことなどから、利回りは大幅に上昇しました。



○為替市況

・米ドル円

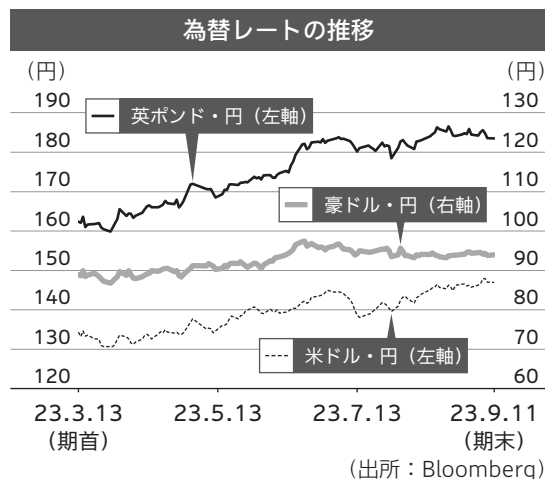
当期末は前期末に比べて円安米ドル高となりました。FRBの金融引き締め長期化観測などにより、米国金利が大幅に上昇したことなどから、円安米ドル高となりました。

・英ポンド円

当期末は前期末に比べて円安英ポンド高となりました。BOEの金融引き締めにより英国金利が大幅に上昇したことなどから、円安英ポンド高となりました。

・豪ドル円

当期末は前期末に比べて円安豪ドル高となりました。RBAの利上げにより豪州金利が大幅に上昇したことなどから、円安豪ドル高となりました。



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」を概ね各50%の比率を基準として組入れております。

期を通じて、「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」への投資比率は、概ね各50%の比率を維持しました。

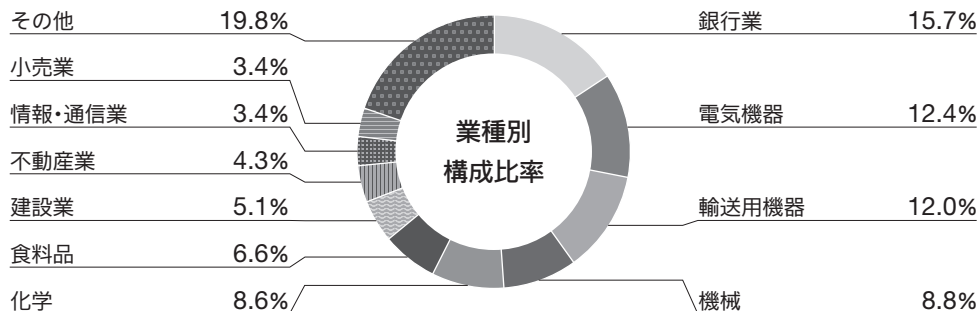
損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。

期末時点での業種別構成比率はグラフのとおりです。

主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、ニデック、キューピー、ひろぎんホールディングスなどです。

主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、シチズン時計、日本製鉄、東京瓦斯などです。



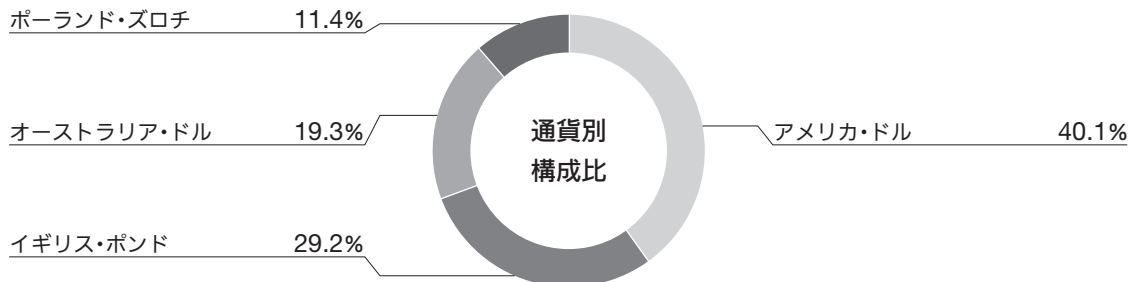
注1. 比率は、第93期末における国内株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。



損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

当マザーファンドでは、分散投資の考え方にに基づき、米国を中心とした北米を40%程度、英国を中心とした欧州を40%程度、豪州を中心としたアジア／オセアニアを20%程度としたポートフォリオ構成としました。



注1. 比率は、第93期末における組入債券評価額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、収益分配方針に基づき、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第91期 2023.3.14~2023.5.11	第92期 2023.5.12~2023.7.11	第93期 2023.7.12~2023.9.11
当期分配金	30	30	100
(対基準価額比率)	0.273%	0.263%	0.832%
当期の収益	30	30	47
当期の収益以外	—	—	52
翌期繰越分配対象額	3,586	3,965	4,494

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期におけるファンドの運用成果[※]をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。

インカム収入とは債券の利子収入や株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

● 今後の運用方針

イオン好配当グリーン・バランス・オープン

今後も、「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」を概ね各50%程度の比率で組入れて運用し、信託財産の着実な成長を目指します。外貨建て資産に関する為替ヘッジについては原則行いません。

損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド




環境問題への取組状況をもとに信用リスクや流動性リスク等を勘案して絞り込まれた投資候補銘柄群の中から、当社独自の分析に基づいて割安度の高い銘柄に投資します。ポートフォリオ構築にあたっては、ポートフォリオ全体の配当利回り水準も勘案し、銘柄選択を行います。今後もこの運用方針を堅持し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

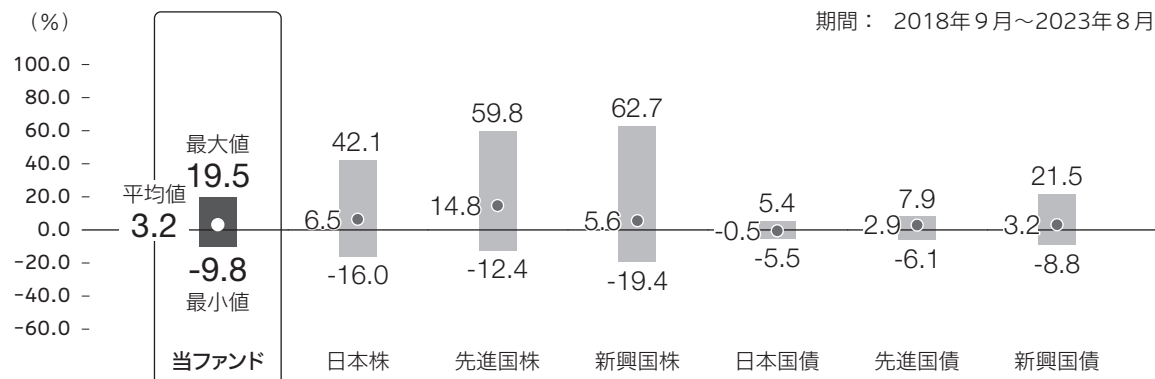
今後も、インカムゲインを重視しつつ、投資妙味が高いと考えられる銘柄の組入れにより、中長期的なトータルリターンの上を目指します。

国別配分では、相対的に投資魅力度が高いと考える、米国や英国、豪州のウェイトを高位に保ち、引き続き分散投資を行う方針です。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。
主要投資対象	 イオン好配当グリーン・バランス・オープン 「損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド」および「損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド」 受益証券
	 損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド わが国の金融商品取引所に上場されている株式
	 損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債
運用方法	① 日本の株式および日本を除く世界各国の公社債に投資します。 ② 環境問題に積極的に取り組んでいる日本の企業の株式に投資します。 ③ 主として北米（米国、カナダ）、欧州、アジア／オセアニア（日本を除く）の国債、州政府債、政府保証債、政府系機関債、国際機関債等に分散投資します。 ④ 利息・配当収入等、売買益（評価損益を含みます。）等を原資として分配します。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。原則として、利子、配当収入等を中心に安定分配を行い、毎年3月、9月の決算時には売買益（評価損益を含みます）を上乗せして分配することを基本方針とします。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は20ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

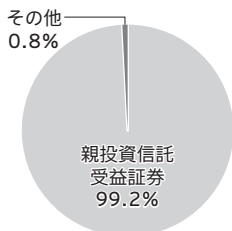
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第93期末 2023.9.11
損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド	49.6%
損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド	49.6%

注. 比率は第93期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第93期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第91期末 2023.5.11	第92期末 2023.7.11	第93期末 2023.9.11
純資産総額	1,075,706,015円	1,135,809,481円	1,249,206,274円
受益権総口数	980,862,230口	999,409,483口	1,048,483,349口
1万口当たり基準価額	10,967円	11,365円	11,914円

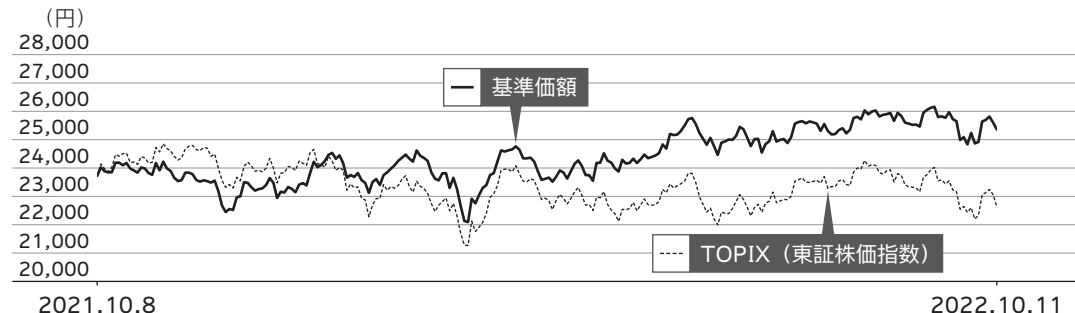
※ 当作成期間（第91期～第93期）中における追加設定元本額は197,120,534円、同解約元本額は90,298,309円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパン・エコ好配当マザーファンド

基準価額の推移



- 参考指標（TOPIX（東証株価指数））の推移は、2021年10月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

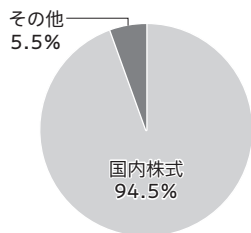
項目	2021.10.9～2022.10.11	
	金額	比率
売買委託手数料	12円	0.049%
(株式)	(12)	(0.049)
その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	12	0.049

期中の平均基準価額は24,275円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	3.1%
2 武田薬品工業	医薬品	日本円	日本	2.7%
3 日本製鉄	鉄鋼	日本円	日本	2.6%
4 キリンホールディングス	食料品	日本円	日本	2.4%
5 大塚商会	情報・通信業	日本円	日本	2.3%
6 三菱地所	不動産業	日本円	日本	2.3%
7 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	日本円	日本	2.2%
8 東日本旅客鉄道	陸運業	日本円	日本	2.0%
9 シチズン時計	精密機器	日本円	日本	2.0%
10 本田技研工業	輸送用機器	日本円	日本	2.0%
組入銘柄数		89銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

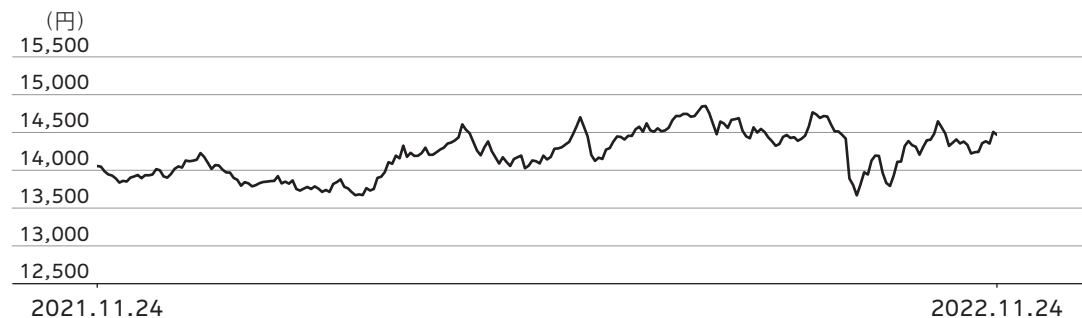
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年10月11日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン高金利外国債券マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

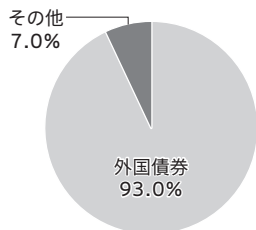
項目	2021.11.25~2022.11.24	
	金額	比率
その他費用	7円	0.047%
(保管費用)	(6)	(0.045)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	7	0.047

期中の平均基準価額は14,231円です。

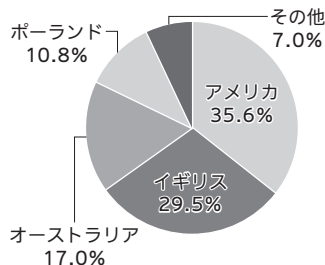
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 UK GILT 6.0 281207	国債証券	イギリス・ポンド	イギリス	21.6%
2 Treasury 7.625 250215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	19.4%
3 AUSTRALIA 3.75 370421	国債証券	オーストラリア・ドル	オーストラリア	12.7%
4 POLAND 5.75 290425	国債証券	ポーランド・ズロチ	ポーランド	10.8%
5 Treasury 6.25 300515	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	9.7%
6 UK GILT 4.5 340907	国債証券	イギリス・ポンド	イギリス	7.9%
7 Treasury 4.625 400215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	5.1%
8 AUSTRALIA 4.75 270421	国債証券	オーストラリア・ドル	オーストラリア	4.3%
9 Treasury 6.25 230815	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	1.5%
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数			9銘柄	

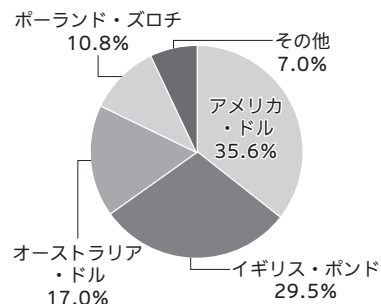
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年11月24日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

イオン好配当グリーン・バランス・オープン

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0907/price.html>

The screenshot shows the SOMPO Asset Management website. The main content area displays the fund name 'イオン好配当グリーン・バランス・オープン' (Aion Good Dividend Green Balance Open) with the nickname 'みどりのふたば'. Below the name, there is a table of documents:

交	交付目論見書 (2023.06.13)	運交	交付運用報告書 (2023.03.13)	休	海外休業日 (申込不可日) 2023年
請	請求目論見書 (2023.06.13)	運全	運用報告書 (全体版) (2023.03.13)		
		月	最新月次レポート (2023.08.31)		

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。